

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／演習 C2 (Seminars C2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	現代ドイツ語圏文化・ジェンダー文化		
担当者名 (Instructor)	宮崎 麻子(MIYAZAKI ASAKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2021年度まで「演習 C2(日独比較文化)」		

#### 授業の目標(Course Objectives)

ドイツ語圏を対象とする文学研究・文化研究に入門し、各自の卒論へとつながるテーマを探し、参加者との討論をおこないながら、資料調査・口頭発表・執筆へと進んでいく。

Students will major German literature and cultural studies, search their own research topic to write graduation thesis. They will research materials, give presentations, discuss about their topics and write their thesis in the future.

#### 授業の内容(Course Contents)

各参加者の個人研究と、共通文献購読の二種類の活動を並行して行う。

個人研究については、関心テーマに沿って文献調査を行い、その成果を口頭発表し、レポートにまとめる。テーマ選択は、教員との相談のうえ決定する。

担当教員の研究上の関心領域は主に下記のとおり。

- 1 ジェンダー表象(文学における女性像／男性像、家族・親族をめぐる表現など)、フェミニズム
  - 2 東ドイツ(ドイツ民主共和国 1949-1990)の文学・映画、東ドイツ崩壊後の問題
  - 3 歴史的できごとの記憶と想起に関する文学・文化
- ゼミ生の研究テーマはこれに縛られる必要はない。  
ゼミ生が順番に司会と議事録係も担当する。

また、ドイツ語映画の視聴や、映画作品に関する議論を行う。  
(時間があれば)

In the autumn semester, students will both present their individual research projects and read some theoretical texts.

For the individual research project, students will search materials, give a presentation about their own topics and write an essay at the end of semester.

We will also watch films in German and discuss about them.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス:先学期の振り返り、レポート総評、今学期の分担の打ち合わせ
2. 共通テキスト:批評理論の入門書(配布予定)についての討論  
映画(抜粋)視聴
3. 共通テキスト:批評理論の入門書(配布予定)についての討論  
映画(抜粋)視聴
4. 共通テキスト:批評理論の入門書(配布予定)についての討論  
映画(抜粋)視聴
5. 個人テーマについての発表・討論(1)  
発表者は一日に二～三人  
発表者は、関連資料を事前に配布(またはアップロード)してください  
映画(抜粋)視聴
6. 個人テーマについての発表・討論(2)  
映画(抜粋)視聴
7. 個人テーマについての発表・討論(3)  
映画についての議論
8. 個人テーマについての発表・討論(4)  
映画についての議論
9. 個人テーマについての発表・討論(5)
10. 個人テーマについての発表・討論(6)
11. 個人テーマについての発表・討論(7)

12. 個人テーマについての発表・討論(8)
13. 個人発表をふまえ:  
グループ討論⇒ テーマ別の班に分かれて  
全体討論⇒ グループ討論の成果報告、質疑、その他
14. チャレンジ:この一年間を通して自分が関心を発展させたテーマや素材についてドイツ語で説明してみましょう(3分程度)

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

共通テキストの予習・読書

個人発表の準備

議事録の完成

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/授業への参加度(30%)/発表(30%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 土田知則、青柳悦子、伊藤直哉、1996、『現代文学理論』、新曜社
  2. 木谷巖(編著)、2014、『文学理論をひらく』、北樹出版
- 抜粋箇所のコピーまたはスキャンを配布する予定

#### 参考文献(Readings)

1. 石田勇治(編集代表)、佐藤公紀、柳原伸洋(編集幹事)、木村洋平、宮崎麻子(編集委員)、2020、『ドイツ文化事典』、丸善出版
2. 青地伯水(編著)、2017、『文学と政治 近現代ドイツの想像力』、松籟社
3. 青地伯水(編著)、2015、『映画でめぐるドイツ ゲーテから21世紀まで』、松籟社
4. ゼバスティアン・ハイドウシュケ、2018、『東ドイツ映画 デーファと映画史』、鳥影社

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

#### 注意事項(Notice)